

2022 年度（令和 4 年度）の事業計画書  
2022 年 10 月 1 日から 2023 年 9 月 30 日まで

特定非営利活動法人コースター

1 事業実施の方針

①社会的課題の解決に取り組む人材を育成する事業

○高校生・大学生向け事業

高校生事業は、昨年度に引き続き、郡山圏内の私立高校 2 校と共に各学年の探求学習の企画と授業を受け持ち、200 名弱の高校生に対して、地域と協働を行うプロジェクト形成の支援を行う。また、他の探究学習を行う高校の生徒との交流企画や県内の経営者と生徒を進路講和の形でマッチングするセミナーなどの開催も行う。

大学生事業は、昨年度に引き続き、次世代の福島を担うプレーヤーとしてインターンシップという手法を用いながら、福島県の企業やNPOなどの経営者と大学生のマッチングを行う。目標として春夏期で、15 社 30 名のマッチングを行う。また、一般社団法人 tatakage japan にプロジェクトづくりの連携を行い、双葉郡でのインターンシップ体制の拡充も図る。

② 地域社会の変革を促進するための社会的基盤を整備または強化する事業

○コミュニティスペース事業

昨年度に引き続き、福島コトひらくにて、コワーキングスペース、シェアオフィス、イベントスペースの貸出を行う。昨年は新型コロナウイルスの影響で、シェアオフィスの貸出が減ったことから、全室貸出をしたうえで、入居者や利用者の事業構築、創業支援を行う。その一環として、郡山市のアクセラレーター養成プログラムを実施している事業者やふくしまベンチャーアワードの受託業者と連携したコワーキングスペースの利活用や事業創出支援を行う。

○復興支援事業

避難指示解除後における富岡町・川内村での交流人口の増加と同村で活動する若手プレーヤーが活動できる現場づくりの創出を通して、復興に寄与するとともに当団体の理念達成を目指す。

その一環として、富岡町内でのキッチンカーによるマルシェイベントを実施し、町内でのプレーヤーの発掘とチャレンジの基盤づくりを行う。

また、休眠預金を活用して、福島県の県中地域の復興公営住宅の実態を調査し、郡山市内の 4 団地以上での支援を行う。具体的には大学生ボランティアと共に、清掃兼御用聞きや交流会の開催の他、市内の団地合同イベントを実施し、今後の支援活動やプレーヤー同士のマッチングを図る。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施予定日時 (B) 当該事業の実施予定場所 (C) 従事者の予定人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 予定人数	事業費の 予算額 (単位：千円)
1 社会的課題の解決に取り組む人材を育成する事業	高校生・大学生向け事業	(A) 随時 (B) 郡山・石川町 (C) 3人	(D) 郡山・石川の高校生 400人 全国の大学生 30人	7,000
2 地域社会の変革を促進するための社会的基盤を整備または強化する事業	コミュニティスペース運営事業	(A) 通年 (B) 福島コトひらく (C) 1.2人	(D) 利用者 (E) 月極めコワーキング・オフィス：10件、都度利用者のべ 1000人	5,120
	復興支援事業	(A) 随時 (B) 県中地域、富岡町・川内村・広野町 (C) 4人	(D) 県中地域、双葉郡内 (C) 10,000人	14,000